4 大学1高専 オススメ 単位互換科目

2021年4月 長岡市内 4 大学 1 高専(長岡技術科学大学、長岡 造形大学、長岡大学、長岡崇徳大学、長岡工業高等専門学校)は、各校 の持つ多様な専門分野を、相互に学び、単位の修得につなげることができ る「単位互換制度」を新たにスタートします。

工学、デザイン、経済・経営、看護分野について、合わせて 160 を超 える単位互換科目を開講します。

各大学・高専が開講する多くの科目のうち、特に履修をオススメする科目 をテーマごとにピックアップしました。

単位互換制度を活用して、学びの幅を広げてみませんか。

単位互換科目の履修等について

所属校の事務局にて必要な手続きを行う必要があります。科目の詳細や単位の取扱いについては、所属 校の事務局に確認してください。

また、単位互換制度により履修する場合には、派遣先大学・高専の入学金・授業料は免除されます。

科目の見方

2学期・金曜日 2時限 │ 開講学期 │ 開講曜日 時限 2年/2単位





各校の開講科目の詳細等に ついては、上記サイトを 参照してください。

このマークの科目は、 オンラインによる遠隔 授業として開講します。 パソコン等の端末. インターネット環境が 必要です。

開講大学・高専は、各校のロゴマークで示しています。



長岡技術科学大学



長岡崇徳大学



長岡浩形大学

長岡大学



人 長岡工業高等専門学校

持続可能な社会に向けて

環境エネルギー工学

1・2学期・水曜日 1・2時限 (90分)

専攻科1年/2単位

担当:河田 剛毅, 平井 誠



は代表的な環境・エネルギー問題について講義し、後半は、省エネ・次世代エネルギー技術について講義する。

災害看護論

前期・指定日 1時限(90分)

2年/1単位

扣当:山崎 達枝

日本で発生する自然災害のメカニズムを知り、私たちが できる防災・減災について学ぶ機会とする。

空間安全論

前期・月曜日 1時限(90分)

2年/2単位

担当:福本 思ほか

近年に起きた災害を事例に、空間や状況に応じて、「誰 にとって何が危険なのか」、「どのような被害を受けるの か」、「その対策や教訓は何か」の各要素を学び、「安全」 の基本的な考え方を身に着ける。

テクノロジーの視野を広げる

機械設計学

前期・水曜日 1・2時限 (90分)

4年/2単位 担当:金子 健正



機械を設計するときに必要となる基礎的知識について講 義を行う。一般的に多数の部品からなる機械は機械要 素と呼ばれるいくつかの要素を組み合わせてできてい る。本講義では設計理論とともに、機械要素の種類と JIS 規格について学ぶ。

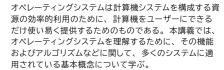
オペレーティングシステム



2学期・月曜日 1時限(90分)

3年/2単位

担当:和田 安弘



マイクロテクノロジー

2学期・水曜日 5~8時限 (90分×2)

専攻科 2 年/ 2単位

担当:井山 徹郎



マイクロエレクトロニクスの急速な発展に伴い、アクチュ エータ、センサおよびマイクロコンピュータを機能的にも 物理的にも一体として組み込んだ機械が生まれている。 このような機械を生産するためには超精密な精度をもっ た生産機械と、それより一桁上の精度をもった計測機械 が必要である。本講義では, 超精密技術の最先端を総 体的に把握することをねらいとしている。

ディジタル制御



2学期・火曜日 5時限 (90分)

3年/2単位

担当:大石 潔、宮崎 敏昌、横倉 勇希

近年、マイクロプロセッサの技術進展は著しく、いろい ろな産業分野に応用されて、人々の生活を快適にして きている。このマイクロプロセッサは、ディジタル制御 によりアクチュエータや電源を制御することに多く応用さ れる。本講義では、ディジタル制御(サンプル値制御) の基礎的な内容から入り、現代制御理論をディジタル制 御系で実現する方法までを修得する。

情報通信工学

1 学期・月/木曜日 3・4 時限 (90分)

専攻科 2 年/ 2単位

担当:樺澤 辰也



携帯電話やインターネットに代表されるように、情報通 信システムが身近なものになり、社会の在り方を変える ほどの影響を与えている。本科目では、移動体通信シ ステムに用いられているディジタル変復調の基礎を中心 に講義を行う。また後半では、通信トラヒック理論に関 する講義を行う。

データ構造とアルゴリズム



2学期・木曜日 3時限 (90分)

3年/2単位

担当:杉田 泰則



高度なプログラミングに必要な基本データ構造やアルゴ リズムについて理解し、高度なプログラミングに必要な 能力をつける。

生命と身体について学ぶ

地域包括ケア論

前期・指定日 2時限(90分)

1年/1単位 担当:飯吉 令枝



住み慣れた場所で自分らしい生活を送るために必要なケ アを考える。

精神看護学概論

前期・指定日 3時限 (90分)

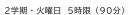
2年/1単位

担当:斎藤 まさ子



いつでもどこでも精神看護!その概要を知ろう!

牛物学



3年/2単位 担当:高原 美規



生物が持つ特徴について広い知識を持ってもらうことを 目的する

成人看護学概論

前期・指定日 2時限(90分)

2年/1単位

担当:金子 史代



「いつもしている生活の中のあれこれ」と「健康づくり」 の関係について考える。

在宅看護学概論

前期・指定日 2時限(90分)

2年/1単位

担当:飯吉 令枝

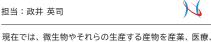


地域で生活しながら療養する人々とその家族へのケアに

微生物学

2学期・金曜日 2時限 (90分)

2年/2単位



環境保全等に利用する微生物工学が発展し、分子生物学 や遺伝子工学との融合により、生物機能のさらなる理解 と産業への応用が進みつつある。本講義では、微生物工 学の基盤となる微生物学の基礎について学び、多様性の 著しい微生物を体系的に理解する。

母性看護学概論

前期・指定日 1時限(90分)

2年/1単位

担当:柳原 追知子



ジェンダー差別の中、概論では女性の心・身体そしてリ プロダクティブヘル(性と生殖の健康)について理解を 深めることにより、女性が安心・安全に暮らせるための サポートをできるようにする。

母性看護援助論 I

後期・指定日 時限は日により異なる

2年/2単位

担当:髙島 葉子



妊・産・褥婦、新生児のケアについて学ぶ。

発酵と酵素工学

1学期・金曜日 4時限(90分)



担当:小笠原 渉



発酵の歴史と発酵工学を学び、さらに発酵の基礎となる 酵素について理解することを目的とする。発酵を最新の サイエンスで読み解き、そのメカニズムを理解する。

デザインの世界を広く学ぶ

デザイン概論

前期・金曜日 3時限 (90分)

美術・工芸概論

1年/2単位

担当:学科教員

後期・水曜日 5時限 (90分)

値観と表現特性の要因関係を学ぶ

1年/2単位

担当:馬場 省吾



デザインの発祥から、現在に至るまでの役割の変化、活 動領域、デザインワークの実態等を通し、これからのテ ザインに求められる理念、知識、技術の概要を学ぶ

プロダクトデザイン概論

建築・環境デザイン概論

前期・木曜日 5時限 (90分)

1年/2単位

担当:学科教員



ファッション、テキスタイル、生活雑貨、家電用品、情 報機器から自動車やロボットまで多岐に及ぶプロダクトデ ザインの分野について、デザインのありかたや制作・開 発のプロセス、今後の展望などを概観する

視覚デザイン概論

前期・水曜日 4時限(90分)

1年/2単位

担当:学科教員



新聞、雑誌、絵本などの印刷物、CD ジャケット、食料 品パッケージ、テレビコマーシャル、ウェブサイトなど、 社会の中での視覚デザインの果たす役割、その成り立ち など其礎的知識を学ぶ



後期・水曜日 5時限 (90分)

1年/2単位

扣当:学科教員



建築デザイン、インテリアデザイン、文化財建造物保存、 ランドスケープデザイン、都市計画まちづくりからの環境 デザインへのアプローチを概説する

文化人類学



後期・木曜日 1時限(90分)

2年/2単位

扣当:板垣 順平



文化という視点から様々なモノを捉え、ヒトとモノとの関 係性について理解を深める。さらに、デザインプロセス の一つとして一般化しつつあるグランテッドセオリーやエ スノグラフィーなど、他者理解を目的としたフィールド調 査の方法についても体感的に学ぶ。

社会とのつながりを学ぶ

美術・工芸が成立してきた時々の事例とそれぞれが求め

た志向の概要と創作原因を理解し、存在する多様な価

起業家塾

前期・集中講義(4日間)

2年/2単位 担当:栗井 英大、武本 隆行



事業アイディアの発想法、事業化するポイントを学び、 グ ループに分かれて実際に事業計画を立案・プレゼンテ ションを行い、起業家精神を身につける(日程は別途 HP等参照)

マーケティング論

後期・金曜日 2時限(90分)

2年/2単位

担当:水川 毅



商品サービス開発から商品デザイン、広告、あらゆるメ ディアを活用したコミュニケーションなど幅広い範囲を カバーするマーケティングについての知識を身に付け、 企業や組織のマーケティング活動について考えていく。

デザインマネジメント



3年/2単位

扫当:池永 降



近年のデザイン活動は、単にモノづくりやその一組織と いう領域を超え、企業経営を支える経営資源の一部と して認識されつつある。これからのデザインが経営資源 としての役割を果たすために必要な基本的なマネジメン トのありかたや、デザインと企業・社会とはどのような 関係であるべきかについて考えていく。